

# 全労金2022春季生活闘争ニュース・第27号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

《合意速報No. 3》

## 長野労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

長野労組は、3月17日11時から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要 求					回 答				
	正職員	アシスタント職員	スマイルホーナー	シニア職員	シニアアシスタント職員	正職員	アシスタント職員	スマイルホーナー	シニア職員	シニアアシスタント職員
基本賃金	1～5等級 S～B昇給額 155～420円	SA昇給額10円 B昇給額5円	役割発揮加算 の見直し	役割発揮加算 の見直し		要求通り	要求通り	要求通り	要求通り	要求通り
一時金	4.7	2.5	1.1	2.5	2.5	4.7	2.5	1.1	2.5	2.5
昨年実績	4.7	2.5	1.0	2.5	2.5	4.7	2.5	1.0	2.5	2.5
安定雇用	無期転換 登用制度	(実現) (実現)		-	-	-	(実現) (実現)		-	-
最低賃金	時間額1,015円、日額7,440円、 月額157,000円への引き上げ					要求通り 時間額1,015円、日額7,440円、月額157,000円				
雇用環境	私傷病休職	-	(実現)			-	(実現)			
	育児時短	小学校3年生まで届出制へ	-		-	小学校1年生まで届出制へ			-	-
	ハラスメント	(実現)				(実現)				
関連会社	関連会社なし					関連会社なし				

### 《金庫の発言概要》

- 長野労金としてこの間70周年は、組合員のご理解・ご協力をいただいたことにより無事に終了することができた。また、ともに100年に向けて歩みを進めるために、BPRのスタート・MLAが10月に配置され、形あるものにするため、金庫からの回答として全てが納得のいくものにはならないと考えるが、理解をいただきたい。
- 価値観が多様化する中で様々な組合員からの意見があると思うが、最終的には一つにまとまる、そのような労働組合組織を期待している。多様な人材が付加価値の高い創造的な仕事を行っていきけるよう、労使の垣根を超え、役職員全員が働きやすい環境にしていきたい。
- 今交渉における真摯な対応に改めて感謝したい。

《大澤闘争委員長の発言概要》

- 労組の要求・申し入れに対して、真摯に向き合っていただき、回答を示していただいたことについて感謝申し上げます。
- 基本賃金改定、年間一時金については、これまでの交渉経過を含め「人への投資」が重要であるとした労組の考えを汲んだ回答であった。
- 最低賃金の改定については、労組要求内容通りとの回答であり、金庫の判断を重く受け止める。
- 雇用に関する環境整備については、小1の壁に対する認識が労使一致しての回答である。しかし、この制度に対する小2、3の申請に対する対象者の不安は、残念ながら払拭されなかった。次世代育成支援法の観点やプラチナくるみ認定企業として、労組要求通りの回答をされたかった。また、女性活躍に向け大変重要な制度であるが、今後は、男性も積極的に育児に参画するために必要であると認識している。我々労使は、制度構築や周知を行い、制度を取得するため、職場労使で環境を整備することが重要であると認識している。今後の労使協議会にて実態把握や取得者の声等を含めて制度整備等を望む。
- 申し入れについては、2022年4月からの協議開始の見解が示された。今後の労使協議会にて制度導入に向けた精力的な議論を期待する。特に、改正「育児・介護休業法」等の施行に向けた取り組みは、4月より段階的に改正される観点からも早急な対応が求められる。
- コロナウイルス感染症の状況も含め、次年度も金庫を取り巻く環境が引き続き厳しい状況である。業務集中化・営業拠点化と劇的な変革の年となる。70周年を超え「100年続く長野労金」をめざして、会員・組合員とその家族の幸せのため、「チーム長野労金」として歩みを進めていく必要がある。そのためにも、全役職員が、健康第一で安心して働き続けられる職場環境が必要である。その環境作りに向けて労使協働の取り組みを望み、基本合意を表明する。

単組は、①基本賃金・年間一時金・最低賃金について満額回答であったこと、②雇用環境整備の育児に関する時間短縮措置について要求通りとならなかったものの、小学校1年生までの申出制が実現すること、等から基本合意を表明しました。

\*合意単組（3単組／3月17日1420時現在）

沖縄・北海道・長野

以 上